

共用品推進機構だより 2017年01月27日(41)

## 目次

### (185) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

### (186) 製品関連記事

▽「握りやすい手すり屋外にも／城東テクノ」

▽「なぞるだけで素早く翻訳／シャープ」

### (187) サービス関連記事

▽「音声ナビ 障害者も案内 東京・日本橋で実験  
／清水建設、日本 IBM、三井不動産」

### (188) 行政関連記事

▽「『規格におけるアクセシビリティ配慮のための指針(JIS Z 8071)』公示」

### (189) 新刊紹介

▽『発達が気になる子どもの行動が変わる！

保育者のための ABI〈活動に根ざした介入〉実践事例集』

▽『ディスレクシアでも活躍できる 読み書きが困難な人の働き方ガイド』

---

### (185) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・ アイディアコンテスト受賞者が学校でも表彰されました！
- ・ 共用品講座：稀少難病「表皮水疱症」を学ぶ

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

---

## (186) 製品関連記事

### ▼ 「握りやすい手すり屋外にも／城東テクノ」

縁側など屋外でも使える手すり「**motte** (モッテ)」。大きなカーブ形状でどんな姿勢でも持ちやすく、袖がひっかからない。気温の変化を受けにくい樹脂被覆により、季節を問わずやさしい握り心地。直径 3.2cm と握りやすい太さ。高さは 3 段階に調整可能。専用ステップとの併用を推奨。住宅改修適用商品。

(日経MJ 1月23日13面より抜粋)

### ▼ 「なぞるだけで素早く翻訳／シャープ」

ペン型電子辞書「ナゾル」。英語の文字をペン状の本体でなぞるだけで素早く翻訳する、シャープの電子辞書。従来製品や紙の辞書に比べて時間を大幅に短縮でき、表示文字も大きくて見やすいので、外国人との打ち合わせが円滑に進む。群を抜く本体の軽さも強みに海外の文献を読み込む機会が多い人にも売り込む。

本体のボタンを押すと 3 秒で起動し、それからなぞって意味を日本語表示するまで 2 秒程度ですむ。標準的な紙の英和辞典と同程度の語数を収納した。従来製品の 4 分の 1 の重さで、上着ポケットに収納できるサイズなので携帯しやすい。ペンケースにも収まる。英単語が行末になって途中で切れて次の行にわたる場合も対応できる。

文章単位で変換することはできないが、熟語の意味を調べることも可能。和訳に機能を絞った。

「英和モデル」のほか、日本語の言葉の意味を調べられる「国語モデル」もある。

(日経産業新聞 1月27日15面より抜粋)

---

## (187) サービス関連記事

### ▼「音声ナビ 障害者も案内 東京・日本橋で実験 ／清水建設、日本 IBM、三井不動産」

清水建設と日本 IBM、三井不動産は 26 日、東京・日本橋の室町地区で音声ナビゲーション・システムの実証実験を始めると発表した。スマートフォン（スマホ）のアプリを活用し、音声で車いす利用者や、視覚障害者、外国人を含む来街者を、それぞれに適した誘導法で目的地まで案内する。

利用者がアプリを起動し「映画館に行きたい」とスマホに話しかけると、アプリが近くの映画館を探し出し「ご案内しますか」と応答。「お願いします」などと答えると、音声と地図による目的地までの案内が始まる。

歩行者に対しては最短経路、車いす利用者に対しては階段や段差のない経路を提示。視覚障害者には移動に必要な細かな情報を音声で提供する。

「9メートル先、右に曲がる」といったカーナビゲーションなどで標準的な方法で案内し、分岐に差し掛かったときに、道を音声や矢印で示す。

（日経産業新聞 1月27日3面より抜粋）

---

## (189) 行政関連記事

### ▼「『規格におけるアクセシビリティ配慮のための指針(JIS Z 8071)』公示」

JIS 規格「規格におけるアクセシビリティ配慮のための指針（JIS Z 8071）」の改正が 1月 20 日に公示されました。この規格は、高齢者や障害のある人々を含む多様な人々にとって、製品・サービスなどを使いやすいものするため、規格にどのようにアクセシビリティの要素を盛り込めばよいかを、規格作成者に示す JIS 規格です。

今回の改正は、2003 年に制定となった旧 JIS Z 8071「高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針」の国際整合規格である ISO/IEC Guide71 が 2014 年に改正されたため、これに整合する形で行われたものです。

主な改正点は、以下の通りです。

- 1) 配慮の対象が、高齢者／障害のある人々だけでなく、日常生活で何らかの不便さを感じている人々に広がった。
- 2) 「アクセシビリティ到達目標」として、「操作しやすさ」「理解しやすさ」

といった、アクセシビリティに関するニーズの概要を示し、そのニーズに対応するために考慮すべき課題を提示した。

- 3)多様な人々の身体特性とアクセシビリティに関するニーズを併せて考えながら規格を作成するための留意事項を解説した箇条が追加された。
- 4)人間の能力と特性を説明するために、ICF(国際生活機能分類) コードを採用した。

・経済産業省によるプレスリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2016/01/20170120001/20170120001-4.pdf>

・日本工業標準調査会 (JISC) HP

<http://www.jisc.go.jp>

(「Z8071」でJIS検索すると、本文を閲覧できます。)

---

## (190) 新刊紹介

### ▼『発達が気になる子どもの行動が変わる！

保育者のためのABI〈活動に根ざした介入〉実践事例集』

2011年刊「子どものニーズに応じた保育」の実践編。ABI(活動に根ざした介入)のコンセプトを示すと共に、ABIを適用した事例として、保育所・幼稚園の様々なニーズの子ども達に対し、場面別に可能な実践を記す。

編著：七木田敦(ななきだ・あつし) 山根正夫(やまね・まさお)

発行：福村出版

本体価格：1800円(税別)

ISBN：978-4-571-12129-6

### ▼『ディスレクシアでも活躍できる 読み書きが困難な人の働き方ガイド』

読み書きが困難なディスレクシア(DX)でも、自分らしく生き延びる方法とは?DX会メンバー4人が、それぞれの学生時代や初めての就職、再就職について語るとともに、そのヒントを示す。書き込み欄あり。

編著：藤堂栄子(とうどう・えいこ)

著：エッジ

発行：ぶどう社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-89240-230-2

---

（編集後記）

2017 年になり 1 か月が過ぎようとしています。4 月に北京で開催予定の IEC（国際電気標準会議）の SyC(システムズコミッティ) AAL(Active Assisted Living：自立生活支援技術) 委員会の会議に向けて、インターネットによる会議が開催されています。この委員会は PT（専門用語プロジェクトチーム）、WG1（利用者中心ユースケース）、WG2（構造と相互運用性）、WG3（品質と適合性評価）、WG4（規制関連業務）、CAG（戦略と協調）のグループに分かれており、それぞれがインターネット会議を開催するため、1 月だけで既に 5 回開催されました。来週月曜日の 1 月 30 日にも開催される予定であり、2 月、3 月も同様に続くと思われます。（松岡光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>